



平成 27 年 10 月 30 日

各 位

上場会社名 株式会社シヨクブン  
 代表者 代表取締役社長 川瀬 公  
 (コード番号 9969)  
 問合せ先責任者 常務取締役総務部長 小川 典秀  
 (TEL 052-773-1011)

## 業績予想との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 8 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成 28 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値との差異(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,442	百万円 60	百万円 31	百万円 1	円銭 0.09
今回実績(B)	4,195	△118	△135	△103	△10.73
増減額(B-A)	△247	△179	△167	△104	
増減率(%)	△5.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	4,403	△16	△54	△49	△4.16

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,606	百万円 388	百万円 334	百万円 237	円銭 20.58
今回修正予想(B)	9,359	209	167	133	11.57
増減額(B-A)	△247	△179	△167	△104	
増減率(%)	△2.6	△46.2	△50.1	△43.8	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	9,126	139	60	△313	△27.12

平成 28 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値との差異(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,435	百万円 32	百万円 32	百万円 11	円銭 1.00
今回実績(B)	4,189	△137	△74	△35	△3.68
増減額(B-A)	△246	△170	△107	△46	
増減率(%)	△5.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	4,397	△44	△53	△38	△3.28

平成 28 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,582	百万円 312	百万円 287	百万円 214	円銭 18.59
今回修正予想(B)	9,336	142	180	168	14.54
増減額(B-A)	△246	△170	△107	△46	
増減率(%)	△2.6	△54.5	△37.4	△21.8	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	9,101	63	13	△335	△29.08

#### 修正の理由

##### 1. 第2四半期連結累計期間業績予想

当第2四半期連結累計期間におきましては、新たなメニュー商品の導入やサービス再検討を行うことで売上げの増加に努めてまいりましたが、円安による物価の上昇に伴う実質所得の低下等による、消費マインドの低下などが売上に影響を与えました。加えて、為替や天候不順などの影響により仕入商品の価格上昇などが売上原価に影響を与えたこともあり、当社グループは引き続き厳しい状況下で推移いたしました。

結果、営業利益、経常利益、四半期純利益は前回予想を下回り、1億18百万円の営業損失、1億35百万円の経常損失、1億3百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失になりました。

##### 2. 通期業績予想

通期の業績見通しは、第2四半期連結累計期間業績及び直近の実績も踏まえ、減額修正するものであります。

なお、下記対策を実施することにより、下期につきましては、前回予想からの変更はありません。

3. 個別の第2四半期累計期間業績及び通期業績予想につきましても、連結と同様の理由によりそれぞれ修正いたします。

#### 対策

当社グループでは厳しい経済環境を直視し、抜本的な対策として「原点回帰」を行うことで宅配業務の見直しを引き続き推進してまいります。さらに仕入体制の改善、さらなるコスト削減を通して安定した収益の確保に努めてまいります。

また、諸原材料等の値上りは一巡したので、当社主力商品であるエコクックメニューの価格を11月2日週から約7%値上げさせていただき、利益改善に努めることにしました。

なお、法人向け事業におきましては、従来の「介護食」に加え、「学校給食」、「事業所給食」にも業務を拡大し、総合食事サービス企業として赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆるお客様に当社がご提供のご家庭の味を楽しんでいただくべく事業展開を図ってまいります。

※ 業績予想等につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上